

オーミフィルム

(1) 緒 言

オーミフィルムはビニル系合成樹脂を主成分とした溶液であって、フェノール樹脂、ポリエスチル樹脂、エポキシ樹脂等で注型品を作る場合、型離れをよくするために用いる離型剤であります。

オーミフィルムはシリコン（ワニス、グリース、オイル）、弗賽樹脂等と異って、使用毎に塗布する一時離型剤で、使用法はこれらの樹脂に較べて簡単で常温で刷毛塗、吹付塗のいずれの方法も可能でありますし常にワックス類等と併用して（下記の如く）頂きます。

(2) 特 性

種 類	青色溶液及び透明溶液
成 分	ビニル系合成樹脂
固 形 分(%)	8~9
特 徴	水溶性、耐熱性
用 途	一般用、木型、石こう型、FRP型

(3) 使用 法

模型のうち、木型、石こう型は表面に盪みを生じたり硬化の際の発熱により、表面光沢が密はれないように乾燥（石こうの含水率2%以下に成るまで）します。

次に、ラック或はサンディングシーラー（ラッカーベース）を2~4回塗って目止めをした後、良質のクリヤーラッカーを2回塗りし、軽石や研磨剤でよく表面を仕上げます。

次にワックスを塗ります。

1. 標準仕上げの場合 → ベースト状ワックス数回塗布
2. 上級表面仕上げの場合 → 硬質ワックス(カルナウバ等)を2~4回塗布。

此の場合の塗装間隔は各約10分間をとり、高輝度の光沢を得るまでパフ仕上げを行います。

次にオーミフィルムを刷毛塗り又は吹付塗り(厚さ0.025mm位)して室温又は赤外線照射で乾燥して仕上げます。

このオーミフィルムを塗った注型品、積層品は離型の際ワックス・ベースの層で分離がおこり容易に型から取りはずすことが出来ます。樹脂表面に附着したオーミフィルムは水洗除去出来ます。

(4) 包装単位

1Kg · 15Kg 缶入